学校通信

和の光

令和６年（２０２４年）５月号⑨

宝塚市立西谷中学校

■修学旅行へ行ってきました（その5 マリン実習）

修学旅行2日目も天候に恵まれました。「美々ビーチいとまん」でマリン体験（バナナ・ボート）に乗りました。皆は少し緊張気味でしたが、写真撮影をする私の呼びかけに応じて笑顔で手を振るほどになりました。

バナナ・ボートにチャレンジ（2024.05.08）

バナナ・ボートにチャレンジ（2024.05.08）

校長先生、僕らをカッコよく撮って（2024.05.08）

Aくんニッコリ!!（2024.05.08）

私たちの青春の記念に（2024.05.08）

担任の先生とツーショット（2024.05.08）

サンゴの塊をゲット（2024.05.08）

クラスみんなで沖縄最高!!（2024.05.08）

＜ 修学旅行の思い出　その１ ＞

3年生が書いた「修学旅行の思い出」を紹介します。どの感想を読んでも、クラスの皆が心から修学旅行を楽しむことができたことが伝わってきます。それは、修学旅行実行委員、班別行動の班長、宿泊時の室長などそれぞれの代表がクラスをリードしたこと。クラスの一人一人が代表の人に協力（お互いの歯車がうまくかみ合って回ったこと）できたこと。その成果だと思います。修学旅行の目標「大切な仲間と最高の時間に！」は間違いなく達成できたと思います。皆さんの更なる活躍を期待しています。（学校長）

■この修学旅行で、一番心に残っていることは民泊体験です。体験を始める前は、民家さんと馴染めるか、夜は眠れるか、と心配だったけど、実際に体験してみると、体験前の心配を吹っ飛ばすくらい楽しかったです。沖縄の海に行ってみんなでジャンプした写真を撮ったり、海で採った貝殻でフォトフレームを作ったり、良い体験になりました。また、夜ご飯をみんなと食べたり、寝る前にトランプゲームをしたり、今までにしたことがないことができて最高の思い出になりました。2日目の美々ビーチでのマリン体験は、風が強くてカヤックの体験がなくなり、ショックを受けたけれど、バナナ・ボートの体験時間が2倍になって、海の遠くまで行けて楽しかった。ホテルに着いて、増田先生から特別にプールを使っていいと言われて、嬉しさがマックスになりました。プールの中にある滑り台を子どもみたいになってみんなと滑ったり、水中おにごっこをしたりして楽しかったです。人数が少ない学校だからこそできることだと思いました。（女子）

⇒民泊で最初は不安に思ったことがあったようですが、心温まるおもてなしを受けて良い体験になったようですね。クラスの仲間や先生方と寝食を共にする中でたくさんの発見があったと思います。プールで泳げて良かったね。西谷中ならではのサービスですね。私も10年ぶりに泳げて楽しかったです。

■1日目、クラシンウジョウ壕と平和祈念公園に行きました。私はガマのことについて調べていたので、クラシンウジョウ壕がどのようなものか分かっていたけれど、思っていたより何倍も暗くて、戦争を体験した人達は、あんなに真っ暗な中で、身を守っていて怖かっただろうなと思いました。平和祈念公園では、戦時中の写真や爆弾の模型を見ました。その中でも、沖縄戦を体験した人の集団自決について書かれた冊子が特に印象に残っています。私は、その冊子を見るまで集団自決をした人は生きることが怖いから、自ら命を絶ったのだと思っていました。しかし、実際は国が命令し、決して自ら望んだわけではないという事を知り、とても驚いたし悲惨だなって思いました。民泊では、沖縄の郷土料理をいただいたり、沖縄の現状について教えてもらったりしました。 沖縄と言えば、海がきれい、暑い、食べ物が美味しいなど表面上のことしか知らなかったけれど、テレビでは報道されない、現地の人だからこそ知っているお話を聞いて驚きました。修学旅行実行委員さんが考えてくれたレク、特に「人間知恵の輪」は仲間と協力して楽しむことができて楽しかったです。また、友達同士でしたいです。中学最後の修学旅行、このメンバーで行けて良かったです。（女子）

⇒沖縄戦について、事前にたくさん調べていましたね。ガマについて、実際に中に入ってみるとその中の様子が更に詳しくわかるし、避難していた人々の辛さを感じとることができたと思います。また、マスコミでは報道されないことも、自分の目や耳で確かめることができて貴重な学びになったようですね。学級レクもすごく盛り上がっていました。実行委員さんの準備、クラスのみんなが心を一つに楽しむ姿、どれも西谷中の誇りだと思います。

■僕はこの修学旅行で楽しむことだけではなく、戦争について学ぶことも目標にしていました。沖縄に行く前に、戦争の映画や映像で学んでいましたが、沖縄戦の悲惨さは現地に行ってみないとわかりませんでした。特に護郷隊、鉄血勤皇隊がどのような組織なのかよく知ることができました。自分たちと同じ年で、戦地の最前線で働いていた人がいた事実を知り、胸が痛みました。（男子）

⇒現地へ行き、自分の目で見る。耳で聞く。実体験をすることはとても貴重な学びになりますね。今の平和は過去の辛い歴史の上に成り立っていることを忘れてはいけないと思います。良い学びができましたね。